

教 育 研 究 業 績 書

2020年 5月 1日

氏名 藤 本 和 彦

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド
1. 彫刻	1)「人間」と「時間」を繋ぐ形態 2)「関係」の形態化 3)「現在」という境界線
2. 立体造形	1)身近にある物の表現素材としての「価値」 2)「必然的表現媒体」 3)自分が経験した「過去」という時間の意味 4)「昭和」という時代 5)そこを取り巻く「日本人観」
3. 空間造形	1)「場」の性格と意味 2)場の持つ「時間軸」 3)忘れられた、または捨ててこられた「価値」の回復

教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事 項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例 1) 浅井学園大学（現、北翔大学） 「デッサン」	平成13年7月 ～現在	普通の視点を変える目的でおこなった、デッサン制作。課題は「天井を含んだ室内画」。広くはない室内で上を見ながらの制作に、始めは戸惑っていた学生も進めるうち、上を見ながらも視界に入るものをどこまで入れて、どこで切るかに集中し 魚眼レンズで見たような空間を作り出す者まで出てきた。細部の描写はあまり高まらなかったが、空間意識が高まり、次の課題（静物の構成）では、ほぼ全員のデッサンに奥行きや位置関係での表現向上が見られた。
2) 北海道教育大学岩見沢校 「彫刻第二Ⅳ」	平成22年1月 ～現在	必然的表現媒体の考察をメインとした制作。初めに作品の提示場所（主に学内）をいくつか絞ったうえで、素材、形態を決定。作品と場、素材と場、形態と場等の関係を掘り下げていく過程で思いもよらない素材が完成密度をあげた状態で完成された。発表時 その場に設置された「モノ」が違和感なく主張をしており、各人の意図が、十分 感じとる事ができた。
3) 札幌大谷大学短期大学部 「基礎造形（金属）」	平成22年10月 ～平成24年3月	銅、黄銅、アルミの薄板を使用した抽象立体の制作。エスキース、制作模型にも重点を置き、思いつきで終わらせる事のないよう意識し、制作終盤の作り込みを徹底する。毎時間 個別のコミュニケーションをとり、制作意図の確認と整合性のとれた制作を行った。制作を小作品1点に絞り、細部まで神経を使った抽象立体の完成を見る事ができた。制作テーマは「私」。
2 作成した教科書、教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事 項		年月日	概 要	
1 資格, 免許		昭和63年3月 昭和63年3月	中学校教諭一級普通免許状（美術） 高等学校教諭二級普通免許状（美術）	
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(その他) (出品) 1. 縁、向こう側、こちら側	単	平成21年8月	Plus1 Groove 2009 コンチネンタル ギャラリー（札幌市）	インスタレーション 材質：木、麻縄、紙
2. ガーデン	単	平成21年8月	空間の触知へ～連鎖の試み ギャラリー創（札幌市）	インスタレーション 材質：イタドリ、麻縄、白玉砂利
3. 土ころび	単	平成21年9月	樽前 arty2009 樽前野外美術展 樽前小学校周辺 （苫小牧市）	インスタレーション 材質：人工芝、木
4. 精霊	単	平成21年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	彫刻 材質：鉄、蠟、トクサ
5. 石油が桜に…	単	平成21年11月	札幌 アートステージ 500m 美術館 2009 地下鉄東西線地下コンコース「大通駅」 （札幌市）	インスタレーション 材質：ドラム缶、スプレー、 発砲ウレタン
6. 土ころび	単	平成21年11月	7人の視点 北翔大学 学術情報センター 「ポルト」ギャラリーB （札幌市）	インスタレーション 材質：人工芝、木、白玉砂利、 イタドリ
7. 縁、向こう側、こちら側	単	平成21年12月	水脈の肖像'09 「日本と韓国. 二つの今日」展 北海道立近代美術館 （札幌市）	インスタレーション 材質：木、麻縄、紙
8. ことだま・はこ	単	平成22年6月	北海道立体表現展'10 北海道立近代美術館 （札幌市）	インスタレーション 材質：木、麻縄、紙

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 9. かはたれ時一結一	単	平成22年6月	北海道立体表現展' 10 本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市)	インスタレーション 材質: 木、麻縄、パラフィン、蜜蝋、 木節粘土
10. 石油が桜に…	単	平成22年7月	JR タワー アートプラ ネッツ 2010 札幌エスタ プラニスホール (札幌市)	インスタレーション 材質: ドラム缶、スプレー、 発砲ウレタン
11. ヨリシロ	単	平成22年9月	Plus1 This Place 本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市)	インスタレーション 材質: 染色された紙
12. かはたれ時 一酉の刻一	単	平成22年9月	大韓民国 全国彫刻家協 会 日韓交流展 ロッテ扶余リゾート (韓国、扶余)	彫刻 材質: 麻紐、パラフィン、蜜蝋、 石膏
13. かはたれ時 一霜月一	単	平成22年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
14. ヨリシロー洞窟の フォークロアー	単	平成22年12月	個展「ヨリシロー洞窟の フォークロアー」 CAI 02 rauml (札幌市)	インスタレーション 材質: 紙、木、人口芝
15. 精霊 II	単	平成22年12月	札幌クリエイター 100 人展 ギャラリーレタラ (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋、 木賊 (トクサ)
16. かはたれ時 一霜月一	単	平成23年1月	アルテポルト小品展 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
17. かはたれ時 一霜月一	単	平成23年1月	New Point 大同ギャラリー (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維、木
18. かはたれ時 一睦月一	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 一睦月一」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋、綿 灰, 土、コーヒー
19. かはたれ時 一霜月一 I	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 一睦月一」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
20. かはたれ時 一霜月一 II	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 一睦月一」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(出品) 21. かはたれ時 - 霜月- III	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 - 睦月-」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
22. かはたれ時 - 霜月- IV	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 - 睦月-」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
23. かはたれ時 - 霜月- V	単	平成23年2月	個展「かはたれ時 - 睦月-」 アートスペース アルテポルト (札幌市)	彫刻 材質: パラフィン、蜜蝋 ポリエステル繊維
24. 相互作用	単	平成23年3月	インタープレイ、 [タニグチアカシ+フジ モトカズヒコ] 茶廊法邑 (札幌市)	インスタレーション 材質: 紙、マスキングテープ
25. 端緒	単	平成23年5月	抽象彫刻 30 人展 - 北の作家たち - 本郷新記念札幌彫刻美 術館 (札幌市)	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水、紙
26. 卵の刻	単	平成23年7月	Plus 1 Condensation コンチネンタル ギャラリー (札幌市)	インスタレーション 材質: パラフィン、韓国紙
27. 端緒と前兆	単	平成23年8月	記憶の循環 樽前小学校 (苫小牧市)	インスタレーション 材質: 学校机の天板、木賊 (トクサ)
28. 私的端緒	単	平成23年9月	茶廊法邑開廊 7 周年 記念展 茶廊法邑 (札幌市)	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水、紙
29. 野槌	単	平成23年9月	ハルカヤマ藝術要塞 春香山屋外スペース (小樽市)	インスタレーション 材質: 人工芝、紙、池
30. 端緒	単	平成23年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水、木
31. 端緒	単	平成23年11月	さっぽろアートステー ジ- ART STREET- 札幌駅前通 地下歩行空間	インスタレーション 材質: 割竹、和紙、鉄、編紐
32. 端緒	単	平成23年11月	抽象・具象彫刻 60 人展 - 北の作家たち - 本郷新記念札幌彫刻美 術館 (札幌市)	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水、紙

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(出品) 33. 端緒	単	平成23年12月	レタラ 1 周年記念 「札幌のアーティスト 50 人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水、木
34. 私的端緒	単	平成24年1月	アルテポルト 2012 寄港展 アートスペース アルテポルト (札幌市)	平面作品 素材: インク、パラフィン、土
35. The origin	単	平成24年4月	意識の形 Plus1 meets Deagu Art space purl 韓国 大邱	インスタレーション 材質: 圧縮袋、衣服、紙
36. 端緒・陽光	単	平成24年8月	SAG企画展 サッポロファクトリー デンタルクリニック (札幌市)	インスタレーション 材質: パラフィン、韓国紙 窓のないスペースの壁面に縦40cm× 横300cm程の長方形に配置した陽光を イメージした平面作品
37. 端緒・潜	単	平成24年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	彫刻 材質: 鉄、鉄粉、塩水 鉄で組んだ作品台状の作品で、天板部 分が鉄粉と塩水で固着させた、ひび割 れ状の造形で、地中に潜む見えない 「力」とその「影響」を表現した作品
38. 端緒・再生	単	平成24年11月	個展「端緒・再生」 喫茶 いまあじゅ	彫刻 材質: パラフィン、韓国紙 喫茶店の壁面に 5 種類の長方形を水 平、垂直だけ条件にランダム配置した 作品。四角く入り込んだ光のような、 窓のような状態で別の空間、新しい時 間を想起させる事を目的に表現した 作品
39. 端緒・多端	単	平成24年12月	レタラ 2 周年記念 「札幌のアーティスト 50 人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	彫刻 材質: 鉄粉、塩水 鉄粉を塩水で錆びさせて固着させた 直方体の作品。上面は緩やかな曲面の 中に 30 個程の小さな穴があり地中か ら沸き上がった「力」の形態化を目指 した作品
40. 仮面	単	平成25年 2 月	500m 美術館 Hokkaido Art Map ギャラリーレタラ企画 Persona 50- 仮面を通 しての自画像」 (札幌市)	彫刻 材質: 紙粘土、アクリル塗料(シルバ ー)、ボルト、ナット 与えられた定形の顔型を自由に造形、 彩色を施した作品。シルバーの塗装で 無表情な堅さのイメージを高め、更に 顔の左右(両方とも上から下まで)に 埋められたボルト, ナットで硬質な感 情を表現。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 41. 端緒・支柱	単	平成25年8月	Plus 1 Naive Conversation コンチネンタル ギャラリー (札幌)	彫刻 材質: 鉄粉、塩水、鉄丸棒 鉄粉を塩水で錆びさせて固着させた直方体とグニャグニャに曲げた鉄の丸棒を組み合わせた作品。3個組の作品で、壁面展示 (高さ160cm程の位置) された直方体3つから床面に伸びた丸棒が、微妙に支えているような、支えられているような、曖昧な関係を探った作品。
42. 端緒・起点	単	平成25年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	彫刻 材質: 鉄粉、塩水、鉄丸棒 鉄粉を塩水で錆びさせて固着させた直方体とグニャグニャの曲げた鉄の丸棒を組み合わせた作品。床置き of 直方体から上に伸びた1本の丸棒が途中から下を向き、直方体を斜めに傾くまで床面を押し、伸びるような作品。双方の力と反発力のバランスを探った作品
43. 端緒・2014S	単	平成26年1月	レタラ3周年記念 「札幌のアーティスト 55人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	彫刻 材質: コーキング用シリコン 硬質な人工芝の奥までシリコンを流し込み、硬化する前に、段階的な引き剥がしを施す。弾力を持った材質の崩壊する状態を形としてどう残せるか、試行した作品。壁面展示の直方体作品
44. 雪の音・再生	単	平成26年2月	帯広コンテンポラリー アート 防風林アート プロジェクト 2013~14 空港線沿い防風林 及び雪原 (帯広市愛国町)	立体造形 材質: 雪 低温の中、シャーベット状の雪を円筒状に作り、雪が吸収した音の開放を試みた作品。外径80cm, 内径50cm, 長さ5mの円筒を一方向に吹く強風と直角に設置し、風により低い音の出る作品
45. 端緒・2014	単	平成26年2月	帯広コンテンポラリー アート 防風林アート 参加作家作品展 帯広市民ギャラリー A1-2	立体造形 材質: コーキング用シリコン 120cm×160cm、厚み3cmの板状の作品で、前述の2014Sと同様に硬質人工芝から規則的に流し、型をとったもの。帯広郊外の広大な農地の縮小版にも見えるが其々の凹凸が造形的に成立するように配慮した。実寸でも縮小でも成立するマチエールを探った作品。
46. Celebrate	単	平成26年2月	500m 美術館 Vol. 10 「Re:送っていただけませんか？」 500m 美術館 地下鉄東西線地下コン コース「大通駅」 (札幌市)	立体造形 材質: 札幌で調達できる「素材」を送ってもらい、作品化したものを送り返すプロジェクト。全国から十数名の参加。ここでは普通の針金を使い、1.5m四方の水引を制作。必要以上に大きくかつ針金そのものの味気ない色そのままに展示。不特定多数の人が見るところで、「誰に送られるものなのか」を考えてもらう作品として提示した。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 47. 畏怖	単	平成26年4月	500m 美術館 Vol. 11 北の脈-North Line-	インスタレーション 材質: シュレッター紙片、塗料 素材に個人情報情報を粉砕した大量の紙片を改めて板状に漉き直したものを使用。そこに時代を経るにつれて、忘れ去られた架空の生き物の名を印字。個人と社会の深化具合を考えた作品。
48. 端緒・動揺	単	平成26年7月	Sapporo Conception 札幌現代アート交流展 2014「レタラ野外前線」 ギャラリーレタラ屋外 隣地(札幌市)	インスタレーション 材質: 漁業用ロープ、砂利 ある強大なエネルギーで激しく揺さぶられた地面のように、ある形が浮き上がり、はみ出した状態を制作。規則やルールの有無によって変わる違和感のある「結果」を表現した。
49. 現象界・滲	単	平成26年8月	Plus 1 間・IN BETWEEN コンチネンタル ギャラリー (札幌市)	インスタレーション 材質: シュレッター紙片 ワイヤーメッシュ 「間」をテーマに展開したグループ展での制作。シュレッター紙片と接着剤、水分を混合させた物を型の中に格子状のワイヤーとともに充填し固定した物。 水分等により、展覧会会期中にワイヤーから線状の錆が滲み増殖し続けた。時間の経過とともに「影響」と「経験値」の考察を試みた作品
50. 端緒・波	単	平成26年9月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質: 鉄アングル、異形鉄筋、鉄粉、塩水 鉄アングルで組んだ、作品台状の作品。天板には、鉄粉と塩水を雑ぜたもので、波形を形成し、3cm上にそのフォルムと同形態を266本の鉄筋の先端で形造り、威力の詰まった波を表現した作品
51. Worldly Desires	単	平成26年11月	光州・北海道交流展 国立博物館 (韓国・光州広域市)	立体造形 材質: 美術情報冊子, 各種ボルトナット。 タイトル訳は「煩悩」。様々なアート情報を掲載した冊子を108枚分(4Pものを27冊)重ねて、108個の貫通穴を、108セットのボルトナット(3種類)で固定。様々な「欲求」を封印するかたちで逆に「表現」を試みた作品
52. 108	単	平成27年1月	レタラ4周年記念 「札幌のアーティスト50人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	立体造形 材質: 美術情報冊子、ステンワイヤー 幅広い表現情報を掲載した冊子を108枚分(4Pものを27冊)重ねて、108個の貫通穴をステンレスのワイヤーで規則的に編み込み固定。圧力の差で有機的な歪みが入り込み、意図していない変質を探った作品

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 53. 現象界・圧	単	平成27年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質：白御影石、鉄粉、塩水 石を割る時、穴を開け、その穴に物理的な圧力(せり矢、発砲セメントなど)を加えて割るが、その状況を別物で再現してみたもの。鉄粉が錆びていくときに膨張する現象を使い「圧力」の再現を試みた。
54. 現象界・滲 リメイク	単	平成27年11月	道展 90 周年企画展 北海道立近代美術館 (札幌市)	立体造形 (組作品から単体へのリメイク) 材質：シュレッター紙片 ワイヤーメッシュ 「間」をテーマに展開したグループ展での作品を単体へ置き換えたもの。シュレッター紙片と接着剤、水分を混合させた物を型の中に格子状のワイヤーとともに充填し固定した物。水分等により、展覧会会期中にワイヤーから線状の錆が滲み増殖し続けた。時間の経過とともに「影響」と「経験値」の考察を試みた作品
55. 現象界・圧 リメイク	単	平成27年11月	北海道・韓国美術交流展 コンチネンタル ギャラリー (札幌市)	立体造形 材質：白御影石、鉄粉、塩水 道展での作品に、その後 塩水を足し、錆びの密着を強め、石まで錆を染み込ませたもの。時間の経過をプラスすることで、極めて「極低速な圧力」を考え直した作品
56. 現象界・溜	単	平成28年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質：コンクリート、鉄粉、塩水 石よりも浸透の可能性が高いコンクリートに、これまでの鉄錆を併せたもの。展示までの2ヶ月間、雨風にさらし、浸透の度合いが予想を超え、「現象」の密度を深められた作品。
57. 現象界・誕	単	平成28年12月	個展・CUBE 展 北海道銀行ライラック ギャラリー	インスタレーション (組作品から空間造形へのリメイク) 材質：シュレッター紙片 ワイヤーメッシュ 「間」をテーマに展開したグループ展での作品を空間造形へ置き換えたもので、部屋を閉め切った状態での企画展への個展としての出品。成型された単体〈一片80cmの立方体〉の傍らに、シュレッター紙片を大量に配し、その中から改めて同サイズの立方体を作り出される様を再現。周りを歩くと紙片が散らばるため、閉め切った空間での企画に考慮した表現を試みた。鑑賞はガラス越しとなり、必要以上の関心を不得、殆どの人がガラス面に張り付くような鑑賞であった。立体の学生には授業の一環で、「使われた紙片は、この段ボール箱何箱分か」を問うと、ほぼ1/10の答えしか返らず、小サイズ物の総量の認識や立体造形物のスケールなどに再考を与えられた展示となった。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 58. 現象界ー虚ー	単	平成29年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質: シュレッター紙片、鉄 別に使われる鉄板のサイズを合わせる為に、外側5mmカットして、余った外枠(不必要になった物)を使用した作品。外枠2枚を微妙にずらし、台座(やはり不必要となった個人情報)に中心を外し、斜めに配置。鉄枠からは錆が台座の紙に徐々に浸透していく状態。秩序を意識しつつも、劣化し混沌をはらむ状況から、あるはずだったものやあるべき状態を想起させる事を探った作品。
59. 現象界 ー秩序と混沌ー	単	平成29年10月	記憶素子展 ー丸山 隆と教え子たちー	立体造形、インスタレーション 材質: シュレッター紙片、単管パイプ 恩師を取り巻くように数十人の教え子が作品展開したグループ展での一作。前出のCUBE展 同様、80角の立方体(今回内部には単管パイプ25本が等間隔に固定)と崩れ落ちた同量の紙片で構成。一見整然と規則作られた立方体では会期中鉄パイプから徐々に広がっていく錆が目立ち始める。一方、無造作に崩れた紙、パイプ、には時間とともに思考が働き、秩序のようなものが想起され始める。時間の経過により現実も逆転してしまう一つの状況を提示した作品。
60. 現象界ー秩序ー	単	平成29年12月	レタラ5周年記念 「札幌のアーティスト 50人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	立体造形 材質: シュレッター紙片、単管パイプ 前作のミニマル版で3本のパイプを紙片の中に埋没させたもので、前作より期間中に錆が浸透・拡大していった作品。初日、整然とした直方体が会場の乾燥した空気や紙片に染込んだ水分により、展示中にやせたり、毛羽立ったり変化をしながら、劣化していく様子を社会の秩序になぞらえた作品。
61. 現象界ー廻ー	単	平成30年6月	つながろう展 札幌駅前通 地下歩行空間	立体造形 材質: シュレッター紙片、異形鉄筋 「時間軸」を統一テーマにしたグループ展への参加作品。台状に固めた紙片の直方体上に径70cmの螺旋状の鉄筋が上昇と降下を繰り返す形態。結露から滴り落ちた錆など、何かしらの形跡を残しながら、巡り廻るイメージで、微妙でいびつな軌跡を辿りながら、途切れる事無く、どこか意図的につながり合わされるような、印象を探った作品。

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(出品) 62. 現象界ー包ー	単	平成30年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質: シュレッダー紙片、異形鉄筋 円柱に固めた細紙片の周辺を円形に束ねた鉄筋で覆い、何かしらの「範疇」を考えた作品。素材の強弱(紙と鉄)と構造の強弱(無垢の塊と棒材の線の構造)が相反する関係で構成。双方とも劣化する中で、何かに属する、また何かを取り込む状況が、似通った存在感を持ち、差異が取り消されるような「範疇の変質」の実感を探った作品。
63. 現象界ー固ー	単	平成30年12月	帯広コンテンポラリー アート 2018「河口」展 Web上での発表	インスタレーション 材質: 貝殻、標本瓶、夜行塗料 「河口」をテーマとした展覧会への参加作品。海岸線を数年に数メートルも変化させる、生きた場所である河口。それに、呼応するかのように、殻だけになってからも砂に埋もれたり、現れたりを繰り返す貝。 認識の強調のため夜行塗料を塗布し、固定のため標本瓶に封入した作品。また存在の曖昧さを求めるため、展示はWeb内のみでの発表とした作品。
64. 現象界ー再ー	単	2019年1月	レタラ6周年記念 「札幌のアーティスト 50人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	立体造形 材質: シュレッダー紙片 紙片を径23cm×厚み3cmの円盤に固め、φ5mmの穴を無数に穿ち、一箇所に再生を意図する新しい紙片が内側からはみ出すようにセットし、ほころびから再構築の状況を「社会事象」になぞらえ混沌からの再生を考えた作品
65. 現象界ー廻ー	単	2019年8月	大田国際美術交流会& 札幌(北海道)交流展 北翔大学北方圏学術情報センター	立体造形 材質: シュレッダー紙片、異形鉄筋 「時間軸」を統一テーマにしたグループ展への参加作品のリメイク作品。 台状に固めた紙片の直方体上に径70cmの螺旋状の鉄筋が上昇と降下を繰り返す形態。結露から滴り落ちた錆など、何かしらの形跡を残しながら、巡り廻るイメージで、微妙でいびつな軌跡を辿りながら、途切れる事無く、どこか意図的につながり合わされるような印象を探った作品。
66. 現象界ー再ー	単	2019年10月	北海道美術協会展 札幌市民ギャラリー	立体造形 材質: シュレッダー紙片、異形鉄筋 紙片を径55cm×厚み5.5cmの円盤に固め、周辺を円形に束ねた鉄筋で覆い、φ8mmの穴を無数に穿ち、数箇所から新しい紙片が内側からはみ出すようにセットした作品。「ある範疇」に起こった崩れからの再構築状況を「社会事象」になぞらえ、混沌からの「治癒」を考えた作品

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(出品) 67. 「現象・不在・影」	単	2019年11月	個展「現象・不在・影」 ギャラリーレタラ (札幌市)	インスタレーション 材質: 木材、畳表 影の見せ方や在り方、影のコントロールではなく「物が在る」ところから見えてくる「影」の定義の考察という点から考えた作品。黒く塗られた「内」を意図した畳表を施した台の周辺に「外」を意図した、同じく黒塗りの片方の靴(木彫) 100個をランダムに配置。空間自体が半分「影」の範疇に属していったような、躊躇する実態(人)の気配を「妄想風景」として表現した空間作品
68. 三人のダーマ	単	2020年1月	レタラ7周年記念 「札幌のアーティスト50人」展 ギャラリーレタラ (札幌市)	彫刻 材質: 木材(セン・シナ・カツラ) オペラ「魔笛」に登場する3人のダーマ(夜の女王の侍女)をモチーフにイメージ化した作品。真っ黒な3種類のブーツ(木彫)を三つとも後ろ向きに並べて配置した作品。闇や影をまとい、怪しさの中にも凛とした有り様を3種類のブーツ・配置に込めて表現した作品。
(その他) 1. 社会活動 造形ワークショップ	共同	平成26年2月	北海道美術協会展 地方展(移動展)におけるワークショップ 「漉いた紙で造形」 北網圏文化センター (北見市)	紙の繊維(コウゾ)を用意し、いろいろなものに、貼り付け、乾燥ののち、剥がし、それを組み合わせて、様々な形に展開した。一般の方、20名程参加。 こちら側の予想をはるかに超える、ユニークな形を制作、提示。それぞれが刺激あい、幅広い価値観の交流ができたワークショップとなった。
(解説) 1. ヨリシロ 2. 作品と私	単著 単著	平成22年9月 平成24年9月	Plus! This Place 作品図録 p. 13 アルテポルト・ミニトークの記録(15名の個展のアーティストトーク集) 発行: 公益財団法人 北海道文化財団 p. 35~p. 42	空間へのアプローチと「場」の関係について。素材と「場」の整合性について。 個展のトークの記録が中心。 2~3年続けた蜜蝋の作品に対しての「制作の背景」と「素材や方法の重点」を解説。更にその後の質疑応答とディスカッションの詳細な記録。
〈論文〉 1. 「共同制作による空間造形の考察」	共著	平成29年3月	札幌大谷大学紀要 p36~p44	「公共空間における〈造形〉の役割と実際」の考察と、「地域連携において共同制作を通じた〈立体造形〉の展開」を探究。実際参加した2活動からの結果と課題、今後の活動へ繋げるものと纏めたもの。